

学校感染症による出席停止について

保健部

1) 学校保健安全法による学校感染症と出席停止期間

| | 感染症名 | 出席停止期間 |
|-----|---|-------------------------------|
| 第1種 | エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルスに限る）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルスに限る）、特定鳥インフルエンザ（H5N1またはH7N9） | 治癒するまで |
| 第2種 | インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く） | 発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで |
| | 百日咳 | 特有の咳が消失、または5日間の抗菌性物質製剤の治療終了まで |
| | 麻疹（はしか） | 解熱後3日を経過するまで |
| | 流行性耳下腺炎 | 腫れが出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで |
| | 風疹 | 発疹が消失するまで |
| | 水痘（水ぼうそう） | すべての発疹が痂皮化するまで |
| | 咽頭結膜熱（プール熱） | 主要症状消退後2日を経過するまで |
| | 結核 | 症状により医師によって感染のおそれがないと認められるまで |
| 第3種 | 髄膜炎菌性髄膜炎 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 * その他の感染症（溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症など） | 症状より医師によって感染のおそれがないと認められるまで |

2) 出席停止扱いについて

感染症名・出校停止期間・受診した医療機関名又は医師名が記載された証明書を学校へ提出することにより、出席停止扱いとします。

(病院所定の証明書でも、次頁の「学校感染症 出席停止証明書」でも構いません。)

*インフルエンザの場合のみ、インフルエンザに罹患したとわかるもの（検査結果、薬の説明書など）を提出することにより、「出席停止証明書」を保護者が記載しても構いません。なお、症状・出席停止期間によっては、医師が記載した証明書を求める場合もあります。ただし、考査中の場合は医師が記載した証明書とします。（保護者記載は認めません。）

学校感染症 出席停止証明書

名古屋市立山田高等学校長 様

年 組 番 氏名 _____

病 名 _____

上記疾患のため、令和 年 月 日より

令和 年 月 日まで

加療を要す（出席停止とする）

上記の通り証明いたします。

令和 年 月 日

医療機関名

医師

㊟

（保護者記載の場合） 保護者名

保護者印

*インフルエンザの場合はインフルエンザとわかるもの（検査結果、薬の説明書など）の提出があれば、保護者の記載でも可。（考査中は除く）